

◇ひとつづくり委員会◇

副理事長 山本 啓太
委員長 佐古 龍一
副委員長 秦 崇大
副委員長 藤川 智大
委員 漆原 宏一
委員 大竹 慧
委員 藤田 恭徳

<事業方針>

インターネットやスマートフォン等、通信機器が発達した現代では、体験をしなくても簡単に情報を得ることが自分たちの子供の頃より非常に容易となっています。様々な情報に触れる機会が増加するなかで、遊びや人間関係、生活習慣の点で大きな変化をもたらしました。子供にとって、コミュニケーションの形成に影響を与え、人と人がふれあう体験の機会が減少していく中で、子供たちが一つの物事に集中して考えることや、体験を基に経験し、創造力を高める機会が減っているのが現状です。

子供たちが無我夢中になって取り組む事ができる事業を、私たち美馬青年会議所が提供する事で、学校生活だけでは体験できない経験を通して、様々な課題を見つけ出すことで「おや、なぜ、どうして」という疑問を持ちます。そして、課題の解決を模索する探究心や新たな発想力が身につくと信じています。その過程には当然挫折や失敗がつきものですが、試行錯誤を経て解決に向かって進みます。心を動かす事業での体験から得た、数字では測ることのできない感性や創造力などを培ってもらいたいと考えています。その中で企業や地域住民の皆様と連携をとり、活動に取り組むことで地域の子供たちに対する関心はより深まり、成長する機会をまち全体で思いやることができるのではないかと考えています。そして子供たちの成長だけでなく、私たち美馬青年会議所会員の未来にもつながると信じています。

最後になりましたが、私の尊敬している歴史的な先人達にはさまざまな知識やアイデア、豊富な体験を通して身についた経験を形にして、現代にも残る言葉や影響を与え続けているモノがあります。「無欲は怠惰の基である」という先人の言葉ですが、欲がないのは今現状に何の課題も見出せず、ただ受け入れている状態だという思いが込められています。この一年間、私自身当たり前を当たり前と思わず創造力を高め、情熱を持って邁進して参ります。皆様、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

<事業計画>

1. 会員拡大
2. ひとつづくり事業の企画・設営・運営（3月、5月、7月、10月）
3. 例会の企画・設営・運営（3月、5月、7月、10月）